

2021年3月期 第3四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社

2021年1月29日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

Copyright © 2008 Ushio Inc., All Rights Reserved

未来は光^{／＼}でおもしろくなる

USHIO



- ① 新型コロナウイルス（COVID-19）影響アップデート
- ② FY2020 3Q(実績) 及び 通期業績(予想)ともに減収減益となる内容
- ③ 通期業績予想の修正内容

- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
- II. FY2020 3Q業績概況
- III. FY2020 通期業績予想
- IV. トピックス
- V. 参考資料

（注）2021年1月29日現在の情報記載

当社グループの主な拠点の最新状況（サマリー）

- 新型コロナ感染機会抑制を目的に、国内及び北米中心に在宅勤務・フレックスタイム制度活用促進を継続。
- 製造部門では、映像関連事業で需要動向に合わせ生産調整を継続。
シネマ用ランプ（国内・フィリピン）：生産調整を継続。
映像装置（カナダ・中国）：生産調整を継続。

2020年度の業績影響

ビジュアルイメージング分野

- スライド12ページ「映像関連事業の最新状況アップデート」を参照。

エレクトロニクス分野

- 光学装置の一部で据付け・立上げ作業が遅れる可能性あるも、新型コロナによる影響は軽微。

その他

- ウイルス抑制・除菌用紫外線照射装置（Care222関連製品）は、ユニットタイプを9月から販売開始し、モジュールタイプは12月より提携パートナーへの供給開始。（詳細はスライド18～19ページ）

-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 3Q業績概況**
 - III. FY2020 通期業績予想
 - IV. トピックス
 - V. 参考資料

売上高 : 824億円（前年同期比 ▲376億円、▲31.3%）

新型コロナ影響によりシネマ用ランプ及び映像装置が大幅減収

営業利益 : ▲4億円（前年同期比 ▲67億円）

販管費抑制も、新型コロナによる減収影響により減益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : ▲10億円（前年同期比 ▲98億円）

新型コロナ関連：

営業外収益 雇用調整助成金_11億円

特別損失 事業構造改善費用_9億円、臨時休業等による損失_11億円

※為替平均レート（FY20_3Q）：1USドル=106円

売上高・損益

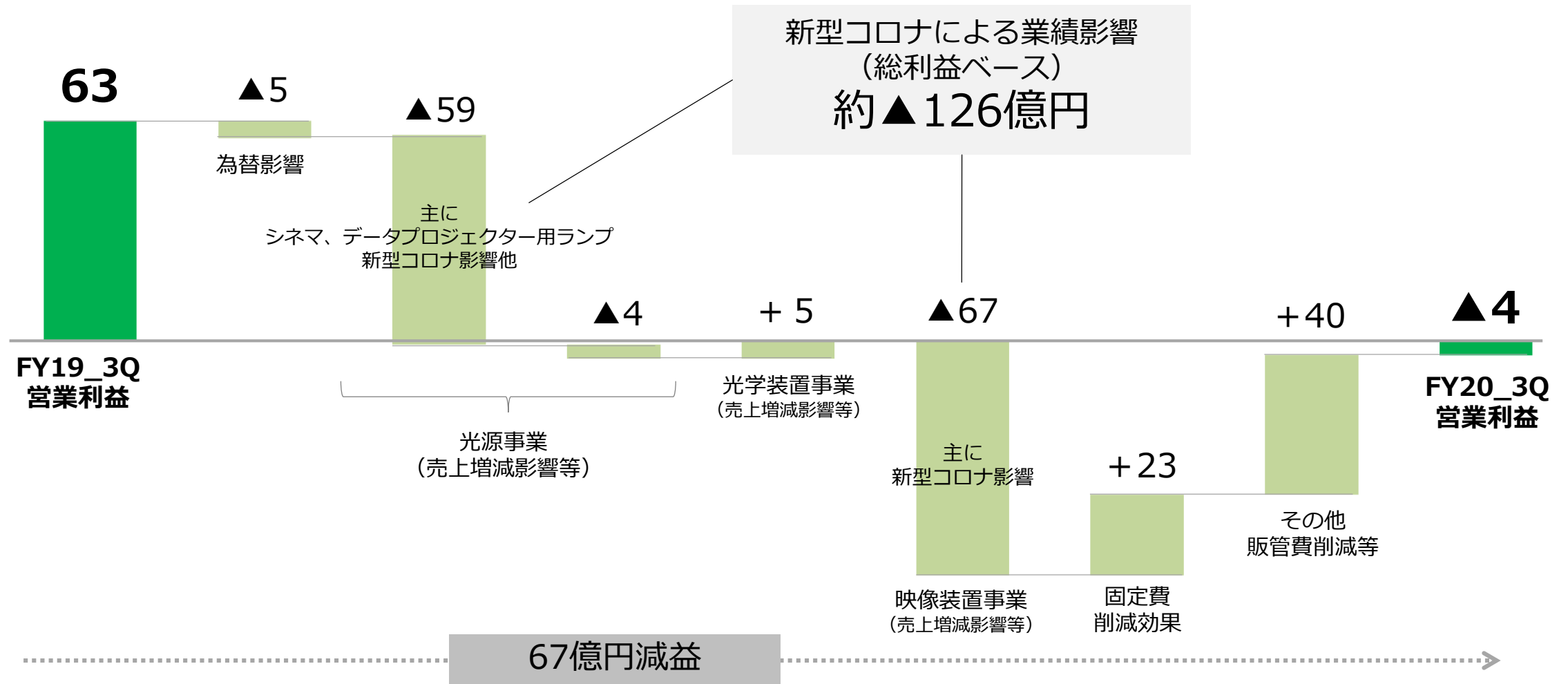
単位：億円		FY19 3Q	FY20 3Q	前年同期比		通期予想	
				増減	%	1.29 修正後	進捗率 (%)
売上高		1,200	824	▲376	▲31.3	1,150	71.7
営業利益又は営業損失（△）		63	▲4	▲67	—	▲5	—
営業利益率(%)		5.3	▲0.5	▲5.8P	—	▲0.4	—
経常利益		84	16	▲67	▲79.9	15	112.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は四半期純損失（△）		88	▲10	▲98	—	▲20	—
EPS（円）		71.71	▲8.69	▲80.40	—	▲16.59	—
為替レート（円）	USD	109	106	▲3	—	103	—
	EUR	121	122	+1	—	126	—

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約10億円	約1.5億円

前年同期比 営業利益増減分析

単位：億円



注：「光源事業（売上増減影響等）」～「その他販管費削減等」は、「為替影響」を除いた金額。

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

単位：億円		FY19 3Q	FY20 3Q	前年同期比	
				増減	%
光源事業	売上高	448	327	▲121	▲27.0
	営業利益	46	14	▲32	▲68.6
	営業利益率（%）	10.4	4.5	▲5.9	-
光学装置事業	売上高	247	258	+10	+4.4
	営業利益	1	2	+0	+19.9
	営業利益率（%）	0.8	0.9	+0.1P	-
映像装置事業 （注）	売上高	480	219	▲260	▲54.3
	営業利益又は営業損失（△）	12	▲22	▲34	-
	営業利益率（%）	2.6	▲10.1	▲12.7	-
その他	売上高	24	19	▲5	▲21.3
	営業利益	0	0	▲0	▲83.5
	営業利益率（%）	1.8	0.4	▲1.4P	-
全社・消去	営業利益	1	1	▲0	▲47.8

参考：光源事業の売上高内訳

	FY19 3Q	FY20 3Q	前年同期比	
			増減	%
放電ランプ	309	217	▲91	▲29.7
ハロゲン ランプ	80	63	▲17	▲21.7
固体光源	57	46	▲11	▲20.3

注：映像装置事業に、FY19まで「装置事業－照明装置他」としていたものを含む

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客への売上高に対する営業利益率

エレクトロニクス分野

事業環境	エレクトロニクス関連市場の稼働状況はコロナ前のレベルに回復し、新規投資も回復基調 ・ FPD：設備投資主体は液晶からOLEDに移行も、巣籠需要でモバイルやモニター向けなどの液晶パネル生産が好調 ・ 半導体・プリント基板等：5G導入に伴う需要増及び技術革新により設備投資が増加	
光源事業	数値は前3Q比較 放_ UVランプ +3億円 +3%	・ 液晶パネル需要の増加により、ランプ需要が増加 ・ 半導体、電子部品向け需要は、堅調に推移
光学装置事業	UV装置 +27億円 +21%	・ 最先端ICパッケージ基板向け露光装置の販売増加 ・ プリント基板向けダイレクトイメージング露光装置の販売は堅調に推移
	キュア装置 ▲25億円 ▲41%	・ 液晶関連装置は、大型投資が一巡し販売減少
	その他 +8億円 +14%	・ EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源の販売増加

ビジュアルイメージング分野

事業環境	新型コロナの影響により、ビジュアルイメージング関連市場は低調に推移 ・ シネマ分野は、2Q以降再開の動きも、再ロックダウン等により北米・EMEAの稼働回復が低調 ・ 一般映像分野は、イベントや各種案件が、APACで回復基調も、北米・EMEAを中心に投資が低調 ・ OA機器需要は、アジアを中心に回復傾向	
光源事業	数値は前3Q比較 放_ シネマ用ランプ ▲71億円 ▲75%	全世界的な映画館休業及びスクリーン稼働低迷長期化により、リプレイス需要が減少
	放_データ プロジェクター用ランプ ▲27億円 ▲55%	プロジェクター需要が減少し、ランプ需要が減少
	ハ_ OA用ランプ ▲10億円 ▲23%	コロナ影響でOA機器需要は鈍化し、ランプ需要が減少も、徐々に回復傾向
映像装置事業	シネマ ▲145億円 ▲59%	全世界の映画館休業長期化により、投資意欲減退でプロジェクター販売が減少
	一般映像 ▲108億円 ▲50%	イベント、アミューズメントパークなどの商業施設向け案件が減少

映像関連事業の最新状況アップデート

■ シネマ関連：感染拡大（第2波・第3波）により北米・EMEAを中心に想定より稼働回復スピードダウン

- ・ 2Q以降回復基調も、コロナ感染再拡大を受け、世界的な再ロックダウン影響により回復状況が想定より悪化。
（3Q時点：世界平均のスクリーン稼働×上映割合 約4割）
- ・ 感染拡大を受け、多くのハリウッド大作公開は、2020年末から2021年春以降に延期。劇場再開も後ろ倒し。
- ・ 主要な地域別状況（2021年1月29日現在の情報記載）

主要地域	劇場の稼働・再開状況
北米（約20%）	約3割の劇場が再開も、引き続き営業時間などは流動的。州により再開停止も
中国（約35%）	約8割は稼働。営業時間もほぼ前年比90%まで回復
EMEA（約20%）	第2波・第3波を受け、3Qから稼働が低調に 回復見通しが後ろ倒し

（ ）は、世界におけるスクリーン割合

- ・ シネマ用ランプは、北米・EMEAを中心に想定より悪化。国内・フィリピン工場も生産調整を継続。
- ・ プロジェクターは、興行各社の投資意欲減退により、置き換えは北米・EMEAを中心に延期。

■ 一般映像関連：北米・EMEAは投資抑制傾向継続 中国を中心としたAPACは回復の兆しも

- ・ プロジェクター等の映像装置販売は、北米・EMEAは、再ロックダウン影響などを受け、想定よりも投資意欲の鈍化及び後ろ倒しで厳しい状況継続。中国やその他APACでは昨年比で大幅な売上減は見られず。
- ・ イベント自粛が継続

-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 3Q概況
 - III. FY2020 通期業績予想**
 - IV. トピックス
 - V. 参考資料

業績予想の修正理由

新型コロナウイルス感染再拡大の影響で、シネマ用ランプは販売減少も、UVランプが堅調に推移する見込みであること。また、継続的に原価改善と経費削減に取り組んできた結果、利益率が改善し、営業利益は前回レンジの上限値へ修正。

単位：億円		FY20 通期予想					差異*	FY19 通期 (実績)	差異
		今回	前回						
			中央値	レンジ					
売上高		1,150	1,190	1,150	～	1,230	▲40	1,590	▲440
営業利益又は営業損失（△）		▲5	▲22.5	▲40	～	▲5	+17.5	66	▲71
営業利益率（％）		▲0.4	▲1.9	▲3.5	～	▲0.4	+1.5P	4.2	▲4.6
経常利益		15	2.5	▲15	～	20	+12.5	87	▲72
親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失（△）		▲20	▲32.5	▲50	～	▲15	+12.5	89	▲109
EPS（円）		▲16.59	▲26.96	▲41.48	～	▲12.44	+10.37	73.25	▲89.84
ROE（％）		▲1.0	▲1.6	▲2.5	～	▲0.8	+0.6	4.3	▲5.3
為替レート (円)	USD	103	105				▲2	109	▲6
	EUR	126	120				+6	121	+5

*前回の通期予想の中央値との差異を記載

セグメント別 売上高、営業利益 予想／4Qの見込み

単位：億円		FY20 通期予想			差異*	FY20 3Q (実績)	進捗率 (%)
		修正後	前回				
			中央値	レンジ			
光源事業	売上高	450	455	440 ～ 470	▲5	327	72.7
	営業利益	22	10	5 ～ 15	+12	14	66.6
	営業利益率 (%)	4.9	2.2	1.1 ～ 3.2	+2.7	4.5	－
光学装置事業	売上高	380	410	400 ～ 420	▲30	258	67.9
	営業利益	5	5	0 ～ 10	－	2	47.0
	営業利益率 (%)	1.3	1.2	0.0 ～ 2.4	+0.1	0.9	－
映像装置事業	売上高	295	285	270 ～ 300	+10	219	74.6
	営業利益又は損失(△)	▲32	▲37.5	▲45 ～ ▲30	+5.5	▲22	－
	営業利益率 (%)	▲10.8	▲13.2	▲16.7 ～ ▲10.0	+2.4	▲10.1	－
その他	売上高	25	40	－	▲15	19	76.8
	営業利益	0	0	－	－	0	－
	営業利益率 (%)	0.0	0.0	－	－	0.4	－
合計	売上高	1,150	1,190	1,150 ～ 1,230	▲40	824	71.7
	営業利益又は損失(△)	▲5	▲22.5	▲40 ～ ▲5	+17.5	▲4	－
	営業利益率 (%)	▲0.4	▲1.9	▲3.5 ～ ▲0.4	+1.6	▲0.5	－

【FY20_4Qの見込み】

光源事業

- シネマ用ランプ：
コロナ再拡大で映画館再開遅れ・スクリーン稼働率低調
- UVランプ：
巣籠需要でモバイルやモニター向け液晶パネル需要増加
半導体、プリント基板等の需要は堅調に推移
- データプロジェクター用ランプ：引き続き低調
- OA用ランプ：緩やかに回復傾向
- Care222：受注、引き合いともに順調に伸長

光学装置事業

- 最先端ICパッケージ基板向け投影露光装置は販売増加
- プリント基板向け直描式露光装置は5G需要で販売増加
- EUVマスク検査用EUV光源は計画通り堅調に推移

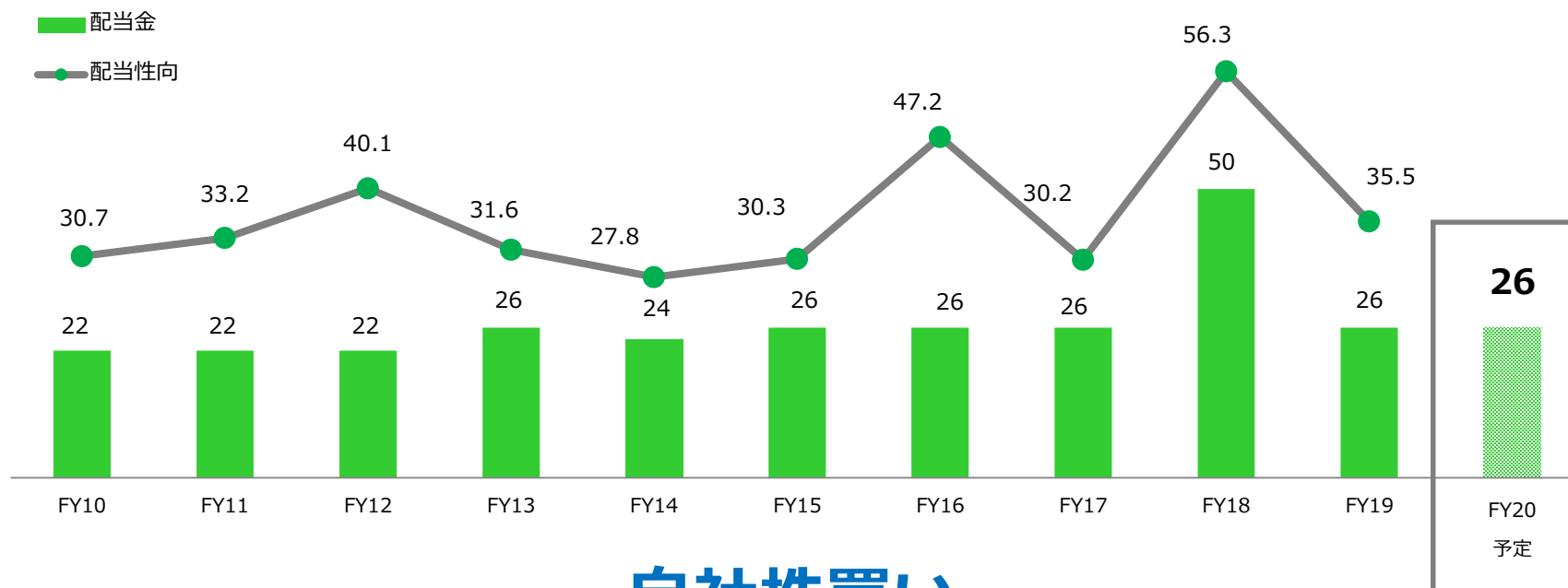
映像装置事業

- コロナ再拡大で映画館休業長期化 投資抑制継続
- 一般映像については厳しい状況継続も、一部エリアでは
商業施設等向け等徐々に再開 イベント自粛は継続
- 販売拠点の見直しなどの対策は継続

*前回の通期予想の中央値との差異を記載

1株当たり配当額 及び 配当性向

2021年3月期の期末配当金（予定）は、安定的な利益還元方針から、**1株当たり配当額26円を据え置き**



自社株買い

自己株式の取得は機動的に実施。保有する自己株式の上限は、発行済株式総数の5%を目途とし、その部分を上回る自己株式については毎年消却。

-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 3Q概況
 - III. FY2020 通期業績予想
 - IV. トピックス**
 - V. 参考資料

有望製品の最新状況（進捗状況）

USHIO

■殺菌・ウイルス不活化ソリューション Care222



販売・供給等の状況

モジュール展開

- ✓ 事業アライアンス先へ提供開始
 - ・ 東芝ライテック様向けモジュール提供開始（12月より）
 - ・ 国内外の多用途にサンプル出荷
- ✓ 更なるアライアンス先の検討
- ✓ 量産に向けた生産体制確立



ユニット展開

- ✓ 医療施設中心に 400箇所（1,400台以上）設置完了

加賀市医療センター様
U3ユニット30台を設置

個室型ワークスペース
「CocoDesk」に採用（富士ゼロックス様）



事業基盤確立への取り組み

- ・ グループのグローバルアセット活用 及び 提携代理店拡大によりチャネル拡大中
- ・ 安全性など正しい理解促進の啓蒙活動強化（安全性データ蓄積 及び 代理店等へ共通販促ツール提供・教育）
- ・ Care222技術ブランドを広く認知してもらうための活動強化（専用サイト立ち上げ・ステッカー準備など）

規制動向

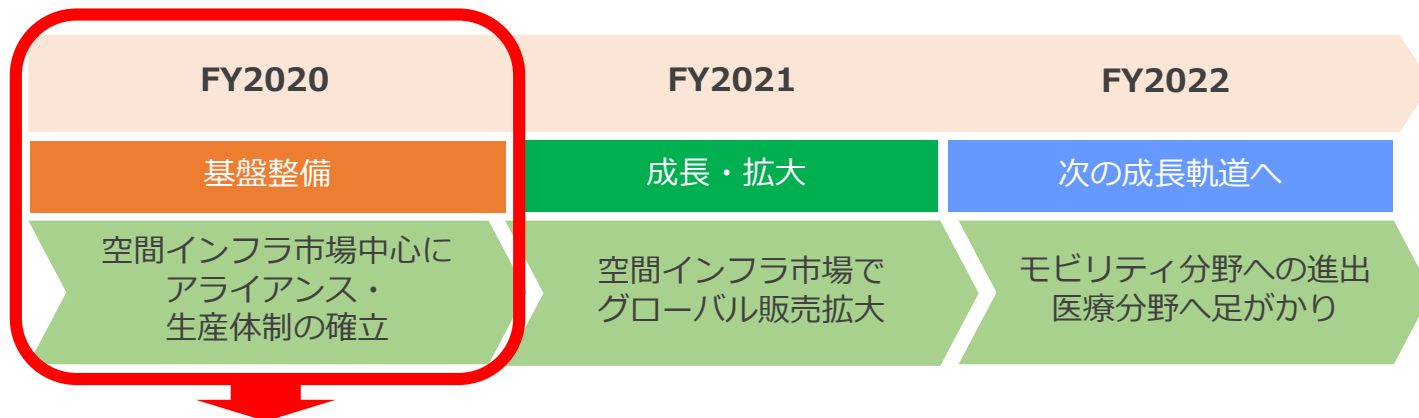
ACGIH*の222nm波長における規制緩和の方向性 . . . 使用範囲（空間、条件）の拡大

*アメリカ合衆国産業衛生専門官会議

有望製品の最新状況（進捗状況）

■殺菌・ウイルス不活化ソリューション Care222

中計3年間の展開と現在のフェーズ



2020年9月 ユニットタイプ販売開始
2020年12月 モジュール量産ラインの確立
2020年12月末 モジュール供給開始
2021年初旬 提携パートナーによる商品販売開始
順次、事業アライアンスを進め、製品開発・販売の基盤を確立



モジュールタイプ



OEM
供給

照明・空調器具
メーカー等

製品

医療施設（病院）
学校
介護施設
商業施設
ホテル
劇場
昇降機
駅／空港／公共施設
など

ユニットタイプ



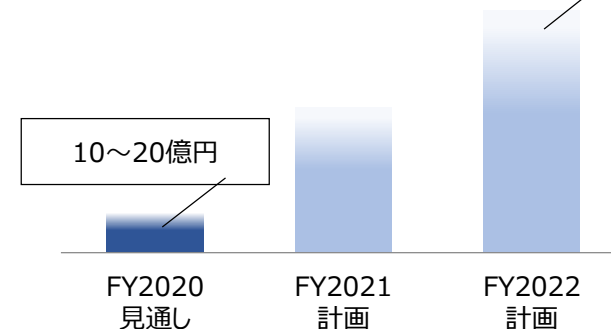
製品

販売
代理店

製品

売上高推移見込み

目標：100億円以上



参考：Care222に関する2Q決算（2020年10月30日）以降のプレスリリース情報

有人環境下で利用できるウイルス不活化・殺菌技術「Care222®」を搭載した新製品2機種を2021年1月から販売
リリース全文（2020年12月1日発表）：
<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2020-2020/500725.html>



ウシオライティングが有人環境下で利用できるウイルス不活化・殺菌技術「Care222®」を搭載した「Care222® iシリーズ ダウンライトタイプ i-DU」を2021年1月から販売
リリース全文（2020年12月1日発表）：
<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2020-2020/500726.html>



USHIO × TOSHIBA



■ EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源



◆ EUV事業の技術開発状況について

2021年2月22日～26日に北米で行われるSPIE学会（WEB開催）で報告予定

詳細：<https://spie.org/AL/conferencedetails/extreme-ultraviolet-euv-lithography?SSO=1#session-3URL>



ウシオ電機は、Session 5：EUV Mask Inspection and Repair にて、顧客でのAPMI*ツールの使用における、ウシオのLDP**方式を使ったEUV光源のパフォーマンス向上に向けた技術動向を公表予定

*Actinic Pattern Mask Inspection (EUV光を用いたパターン付きマスクの検査) **Laser assisted Discharge Plasma

◆ 今後の事業拡大を見据えた「原価低減」の取り組み（中期経営計画のアクションプラン）

次世代半導体の量産プロセスに欠かせない、主要基幹部品の安定供給及び継続的な性能・品質の改善に向け、アドテックエンジニアリング長岡工場（新工場）の活用を決定

詳細：2020年12月23日付「ウシオグループ、光学装置事業を強化」のプレスリリース参照

<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1003/2020-2020/500735.html>



■ダイレクトイメージング（DI）露光装置



◆生産能力拡張を決定

今後、5G実用化によるIoT進展やスマートデバイスの進化など、ICT（情報通信技術）インフラ需要が急伸することから、半導体やプリント基板、パッケージ基板などの需要が拡大及び技術革新が期待され、DI露光装置の販売は拡大の見込み。

これに対応するため、既存のアドテックエンジニアリング長岡工場の生産スペース拡張を決定。

DI露光装置の**生産能力を従来比約1.4倍に増強**。

詳しくは、以下のプレスリリース情報（2020年12月23日）を参照ください。

ウシオ電機「ウシオグループ、光学装置事業を強化」

<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1003/2020-2020/500735.html>



アドテックエンジニアリング「長岡事業所「生産能力拡張」のお知らせ」

<https://adtec.com/info.html?itemid=102&dispmid=683&TabModule689=0>



-
- I. 新型コロナウイルス(COVID-19)影響のアップデート
 - II. FY2020 2Q概況
 - III. FY2020 通期業績予想
 - IV. トピックス
 - V. 参考資料

USHIO

次世代半導体量産用EUV光源
開発、生産、販売




TinPhoenix
Produced by USHIO

光源販売
メンテナンス

マスク検査装置メーカー
研究開発機関

EUVリソグラフィの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

半導体デバイスメーカー等

検査、開発用光源のニーズ増大

ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

●ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
 - *極端紫外線露光システム開発機構
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへEUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

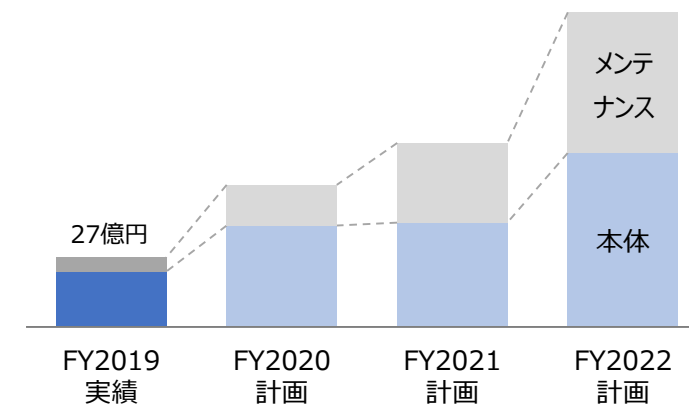
●ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

長年積み重ねたEUV技術
（コンパクト／高輝度／高出力）

売上高推移見込み





分割投影露光装置 (UX-5) 製造、販売

最先端・次世代パッケージの需要拡大

装置
販売

パッケージ基板
メーカー

チップ実装
サーバー搭載

IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場：年率20%以上成長（自社調べ）
⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

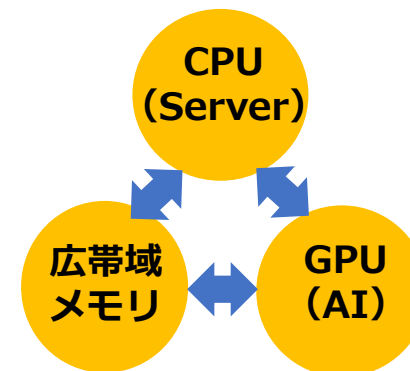
●世界シェア： 100%

ハイエンドBGA基板露光市場（自社調べ）

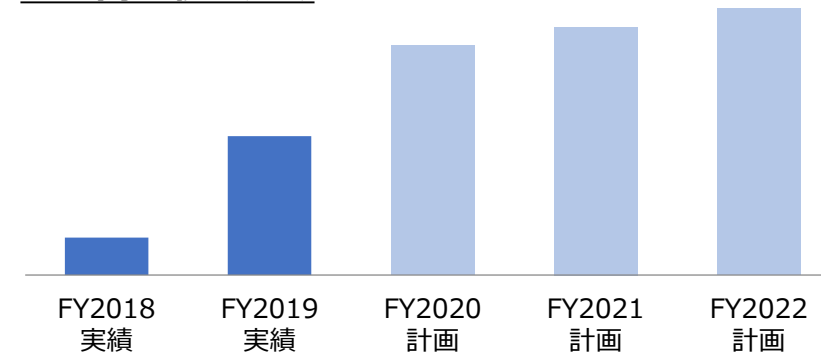


●UX-5の強み（特長）

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化・プロセスマージン



売上高推移見込み



ダイレクトイメージング露光装置について

USHIO



ダイレクトイメージング 露光装置

開発・製造・販売

微細化対応

高生産性

装置
販売

アプリケーションの革新に対応した
プリント配線板需要の増加

プリント配線板 パッケージ基板 メーカー

高密度化

多層化

基板
搭載

消費電力対応

小型化対応

5G導入による
各種アプリケーションの**革新**と**需要**の増加

データセンター
基地局
需要増

スマートフォン
通信機器
需要増

車載
需要増

5Gサービス
世界各国で
開始・拡大

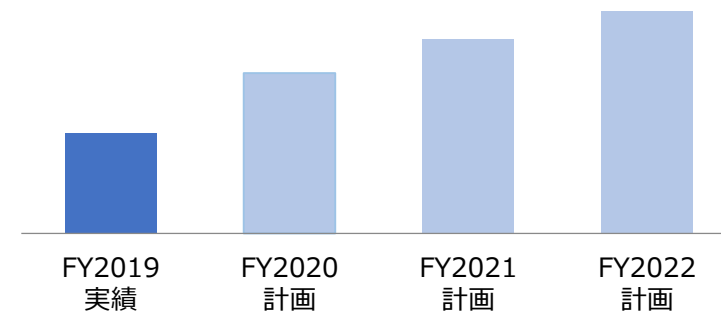
●ウシオの強み

高解像力(ハイエンド)
世界最速の高生産性(ミドルエンド)

+

顧客本位の保守サポート能力

売上高推移見込み



●世界シェア： 約20% (自社調べ)

四半期推移《損益》

単位：億円

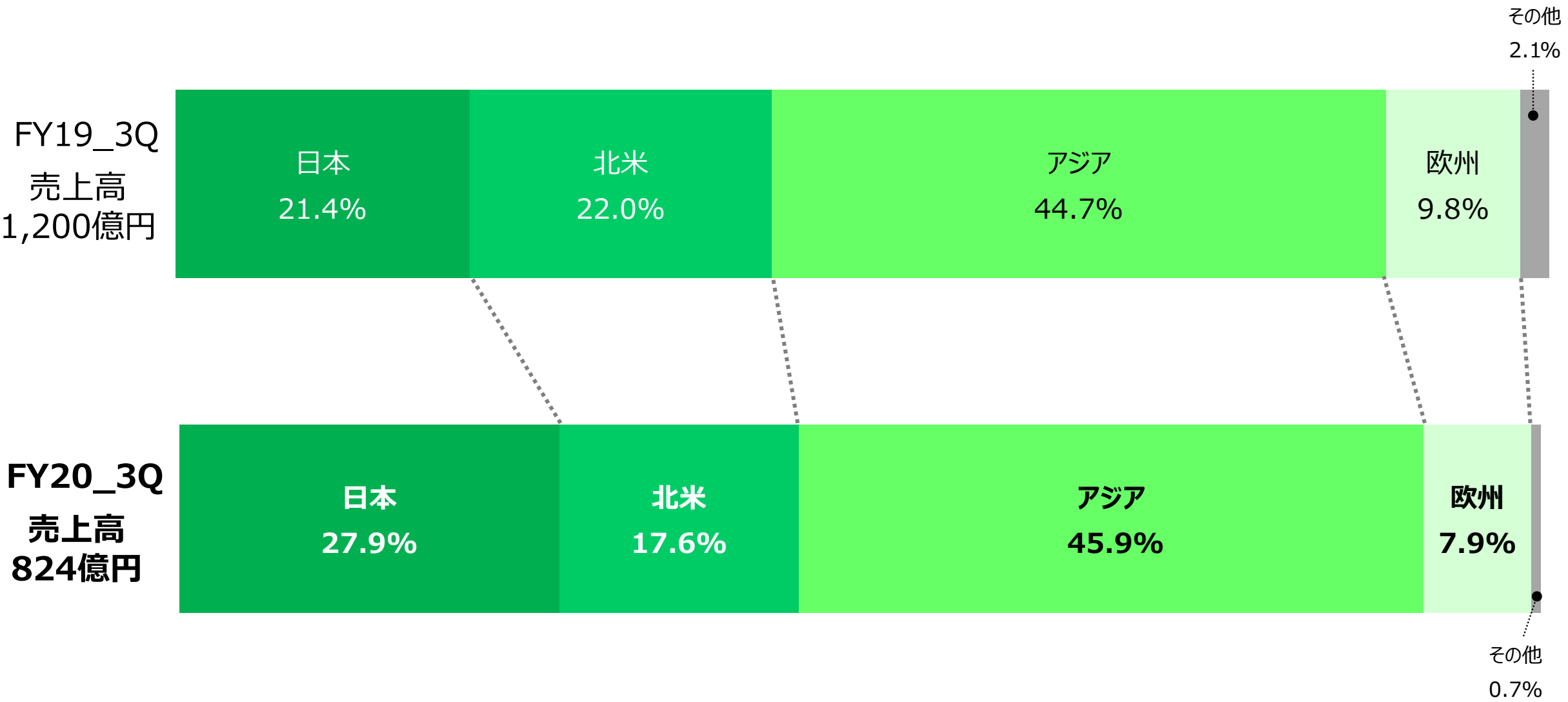
		FY19				FY20			FY20 3Q - FY19 3Q		FY20 3Q - FY20 2Q	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減	%	増減	%
売上高		389	430	380	389	236	283	304	▲76	▲20.1	+20	+7.3
営業利益又は営業損失（△）		21	27	14	3	▲7	▲3	6	▲8	▲55.7	+9	-
営業利益（％）		5.5	6.3	3.9	0.8	▲3.1	▲1.1	2.2	▲1.7P	-	+3.3P	-
経常利益		29	28	25	3	3	0	12	▲12	▲49.3	+12	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 四半期純損失（△）		12	17	57	1	▲10	▲9	9	▲48	▲84.1	+18	-
EPS（円）		10.02	14.43	47.87	1.22	▲8.76	▲7.60	7.66	▲40.20	▲84.0	+15.26	-
為替レート （円）	USD	111	108	109	109	108	106	105	▲4	-	▲1	-
	EUR	124	120	120	121	118	124	124	+4	-	-	-

四半期推移《セグメント別損益》

単位：億円

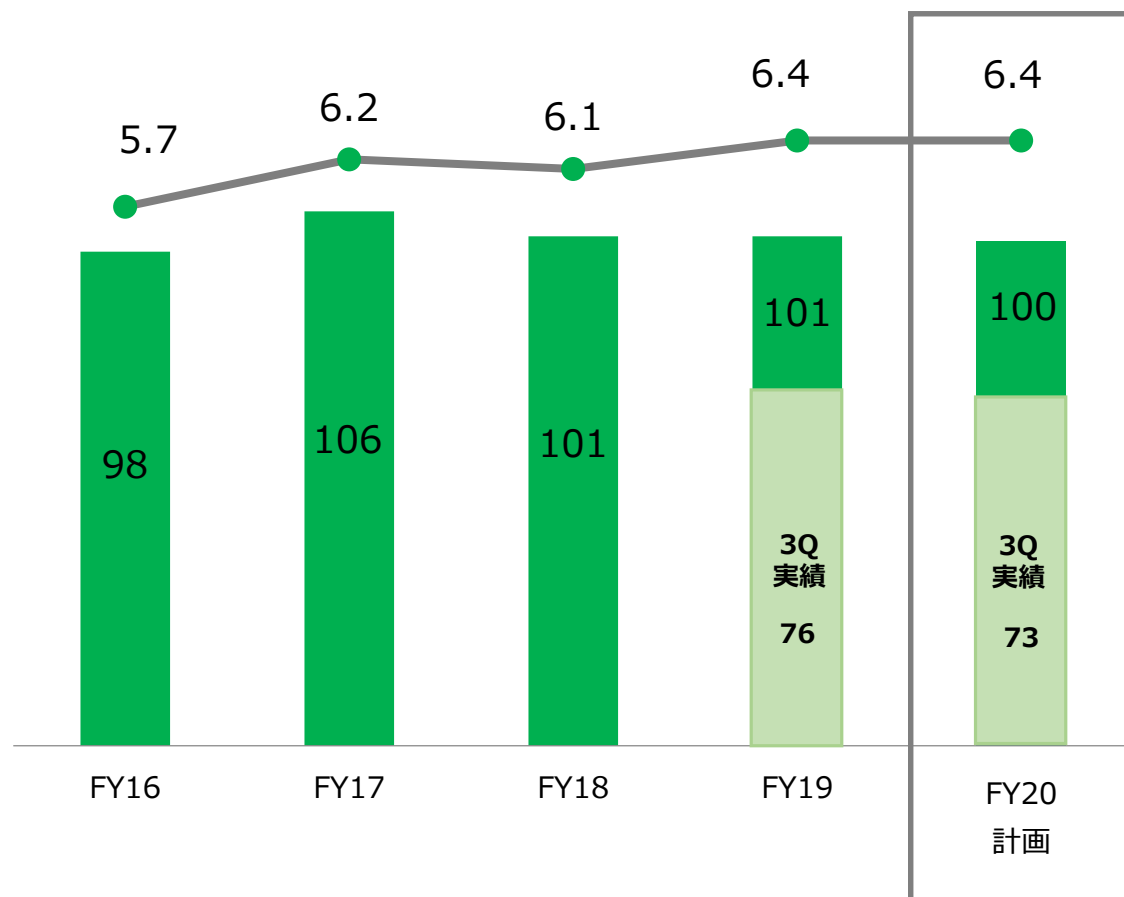
		FY19					FY20			FY20 3Q - FY19 3Q		FY20 3Q - FY20 2Q	
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	増減	%	増減	%
光源事業	売上高	154	149	143	137	585	104	105	116	▲27	▲19.0	+10	+10.1
	営業利益	19	16	10	13	60	4	1	7	▲2	▲24.7	+5	—
	営業利益率（%）	12.5	11.2	7.3	10.1	10.3	4.6	1.8	6.8	▲0.5P	—	+4.9P	—
光学装置	売上高	89	91	66	114	361	71	92	94	+28	+42.4	+2	+2.7
	営業利益又は 営業損失（△）	1	2	▲1	▲7	▲5	0	0	0	+2	—	▲0	▲10.4
	営業利益率（%）	1.2	2.4	▲2.0	▲6.8	▲1.6	1.1	0.9	0.8	+2.8P	—	▲0.1P	—
映像装置	売上高	137	180	162	127	608	54	79	85	▲77	▲47.3	+6	+7.5
	営業利益又は 営業損失（△）	▲0	7	5	▲3	9	▲12	▲6	▲2	▲8	—	+3	+55.7
	営業利益率（%）	▲0.2	4.0	3.4	▲2.7	1.5	▲23.9	▲8.0	▲3.3	▲6.7P	—	+4.7P	—
その他	売上高	7	9	7	9	33	6	5	7	▲0	▲3.1	+1	+30.3
	営業利益又は 営業損失（△）	0	▲0	0	▲0	0	▲0	0	0	+0	+19.6	+0	—
	営業利益率（%）	2.5	▲0.0	3.5	▲1.4	0.9	▲3.6	0.1	4.3	+0.8P	—	+4.2P	—

地域別売上高比率

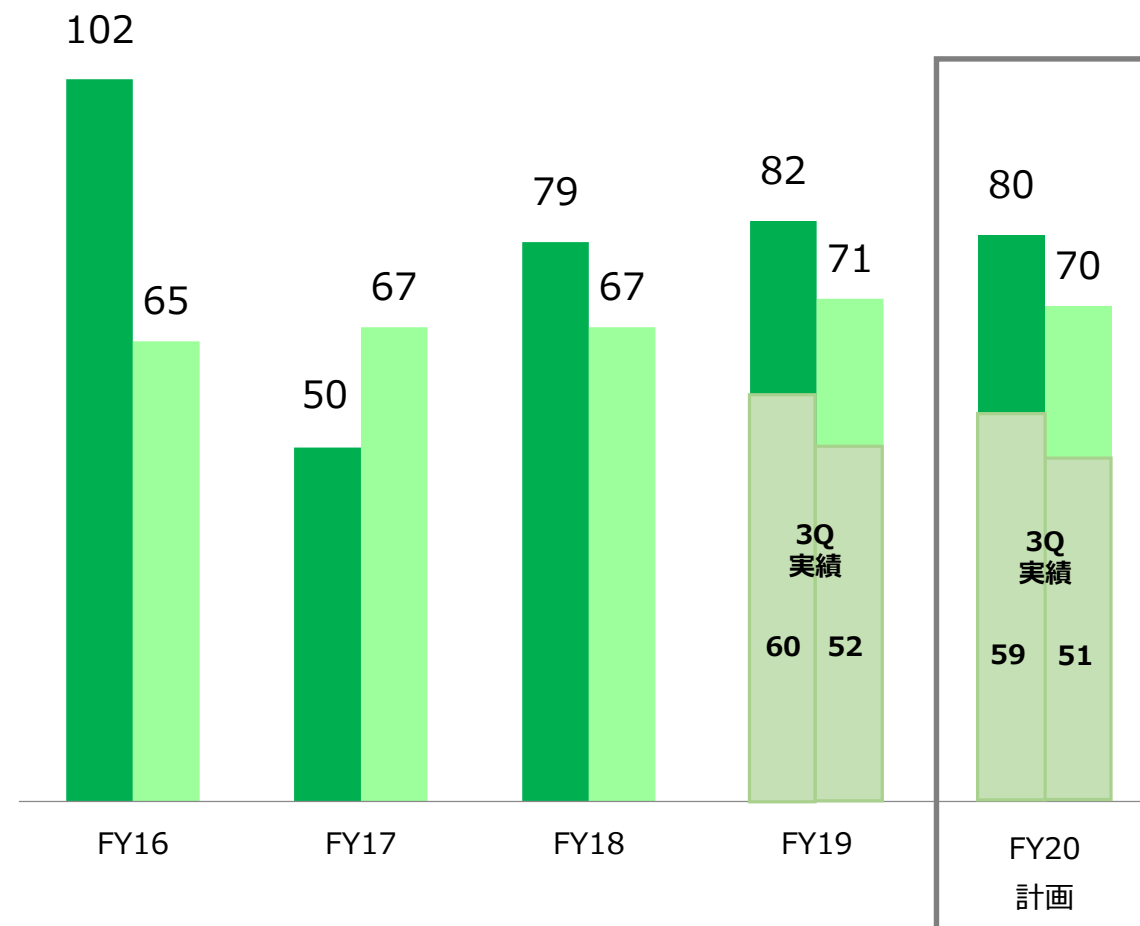


研究開発費／設備投資額・減価償却費

■ 研究開発費（億円）
— 売上高研究開発費率(%)



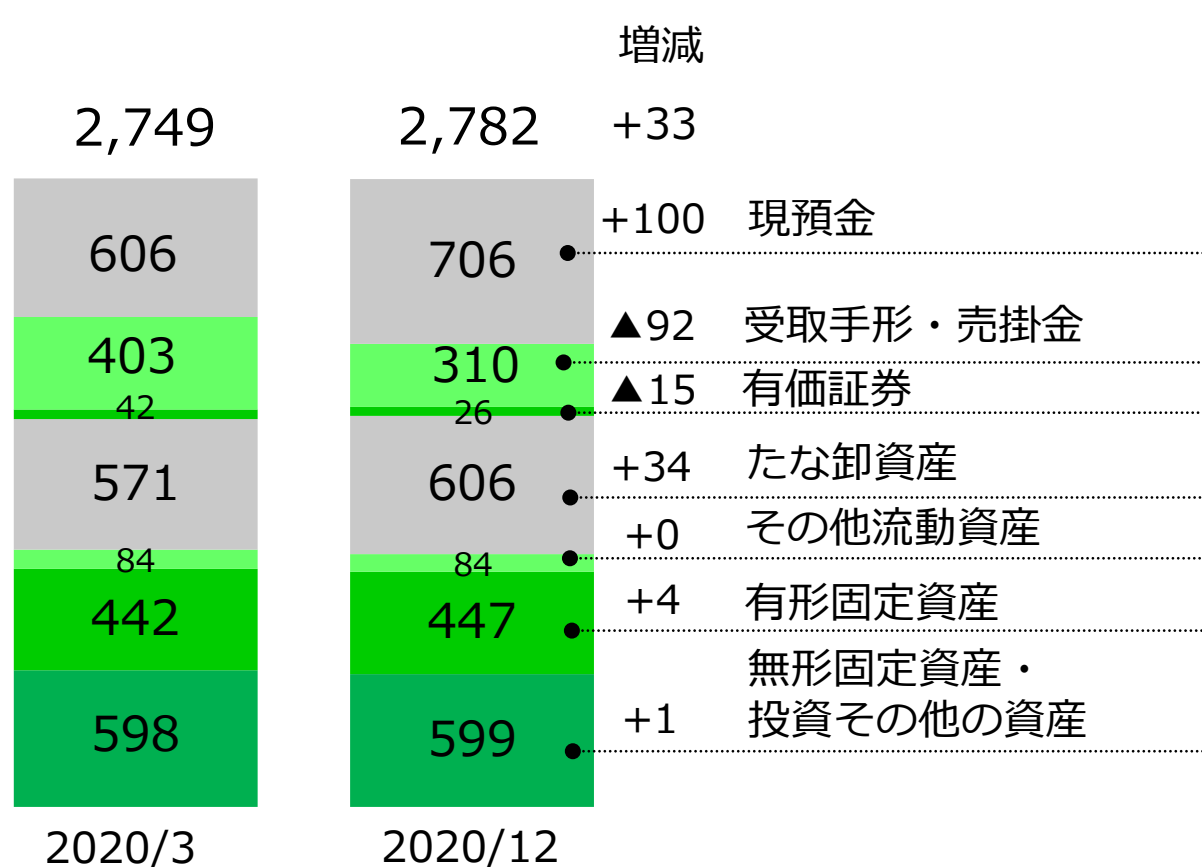
■ 設備投資額（億円）
■ 減価償却費（億円）



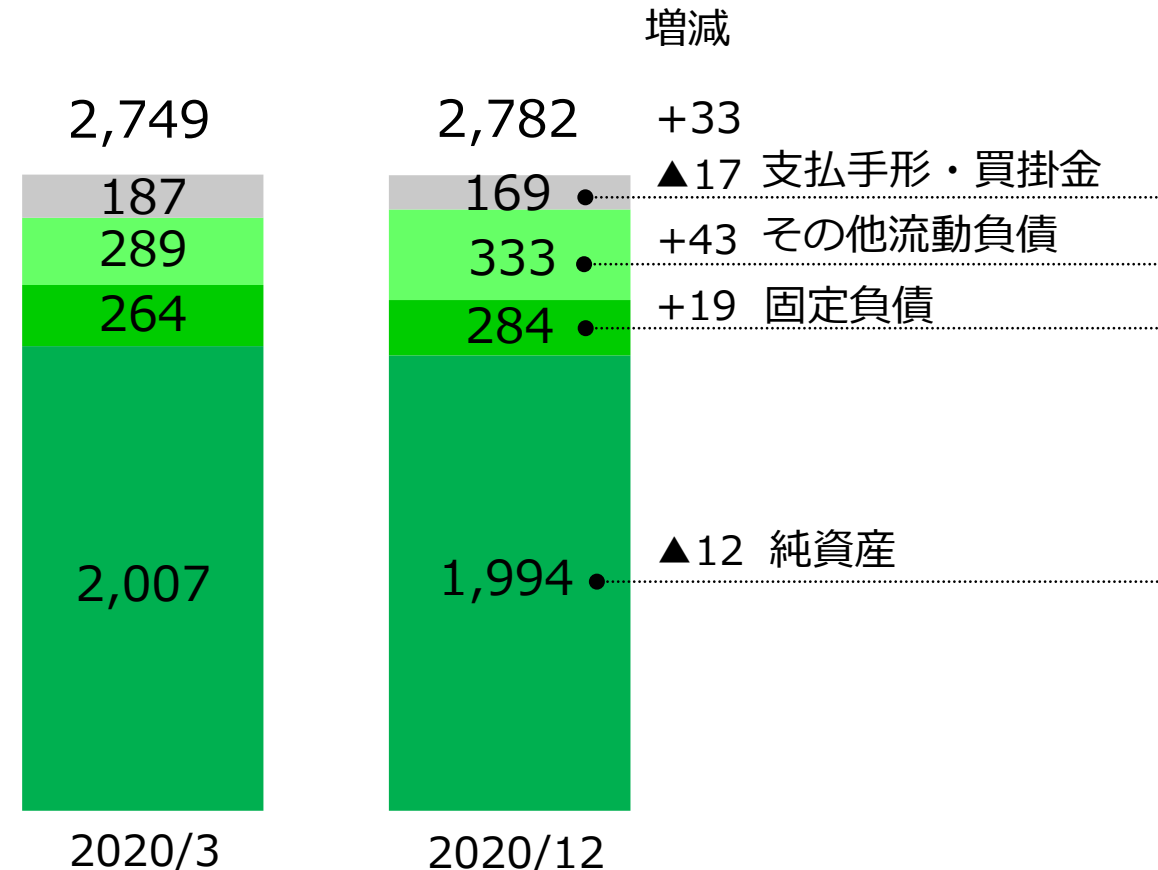
注. 設備投資額は 「有形固定資産」 + 「無形固定資産」。ただし、「のれん」は除く。

貸借対照表

◆ 資 産 (億円)



◆ 負債・純資産 (億円)



●回転月数 (ヶ月)

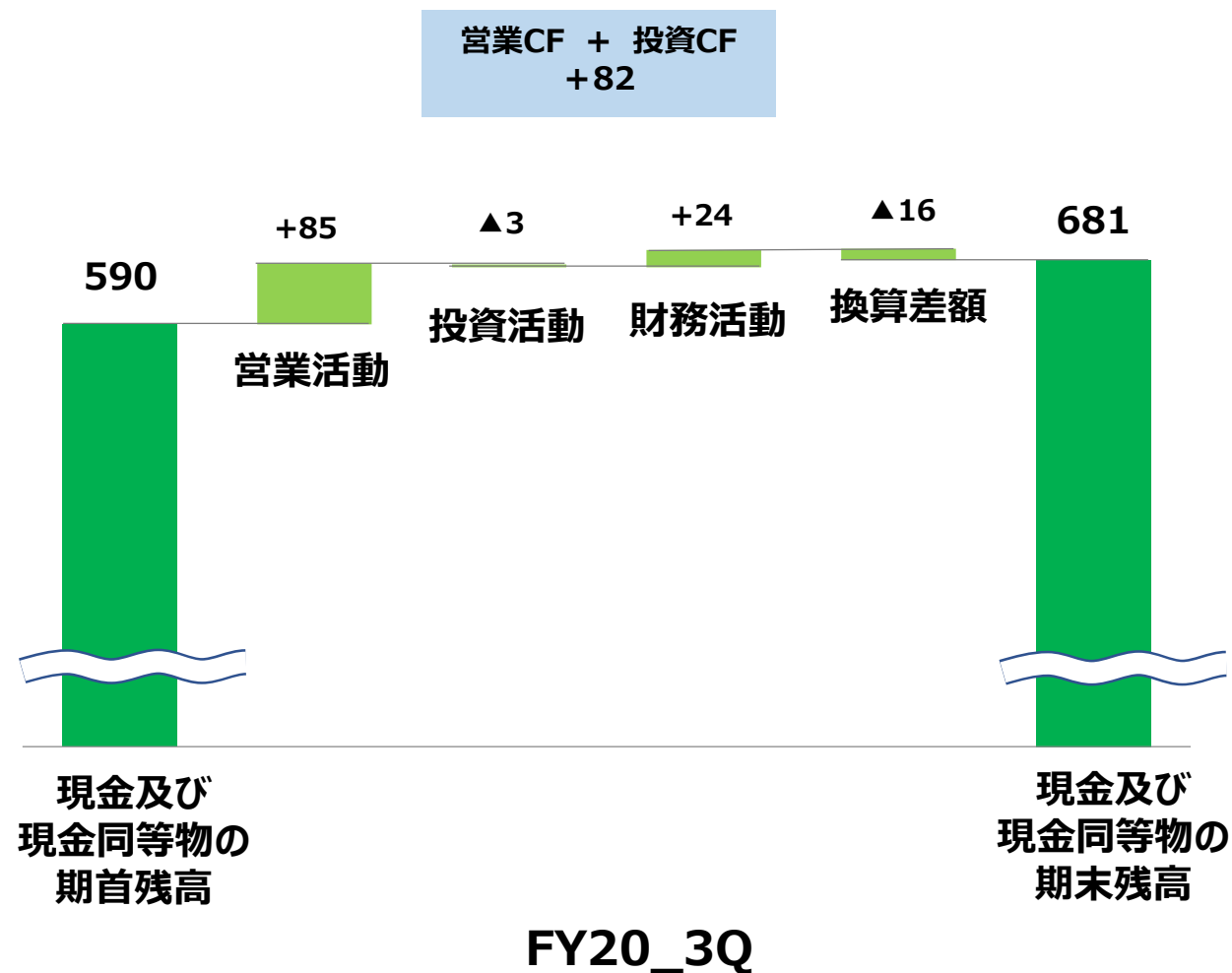
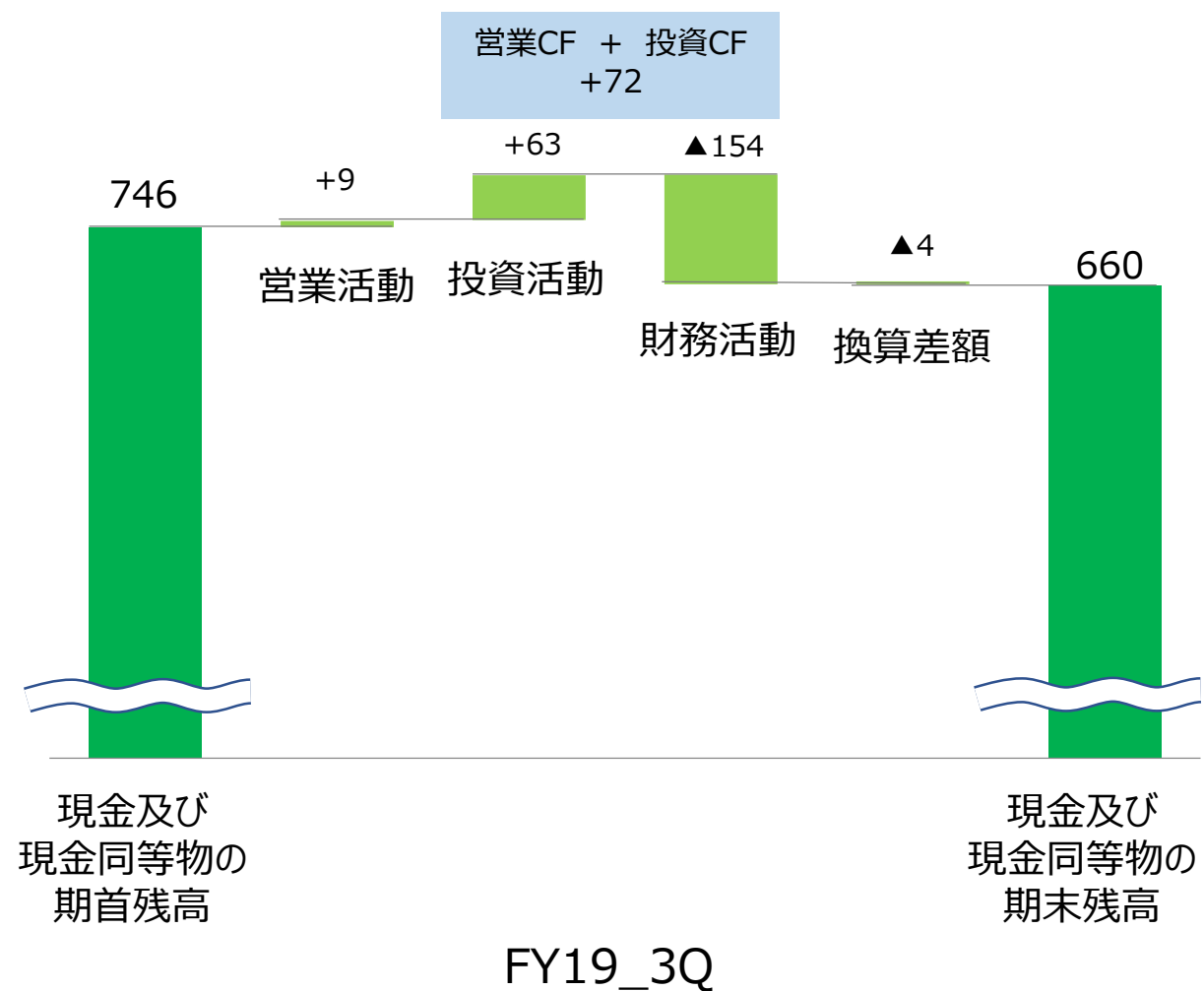
	2020/3	2020/12
売上債権	3.0	3.9
たな卸資産	4.5	6.4

●自己資本比率 (%)

	2020/3	2020/12
	73.0	71.7

キャッシュフロー

単位：億円



ACGIH	American Conference of Governmental Industrial Hygienists	化学物質の許容濃度の勧告値を公表する、アメリカ合衆国産業衛生専門官会議
AI	Artificial Intelligence	人工知能
APAC	Asia-Pacific	アジア太平洋地域
APMI	Actinic Pattern Mask Inspection	EUV光を用いたパターン付きマスク検査
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DI	Direct Imaging	マスク等を使わず、直接描画する露光方式
EMEA	Europe, Middle East and Africa	ヨーロッパ・中東・アフリカ地域
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
EUVA	Extreme Ultraviolet Lithography System Development Association	極端紫外線露光システム開発機構
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノのインターネット
LDP	Laser Assisted Discharge Plasma	レーザーをトリガーとして電極上の錫を蒸発させ、その蒸発した錫を放電により発電させたプラズマを冷気することでEUVを取り出す方式
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機EL
SPIE	The International Society for Optics and Photonics	国際光工学会
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム



本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657－1007
ir@ushio.co.jp
<https://www.ushio.co.jp/jp/>